

專門基礎分野

I 人体の構造と機能及び心身の発達

大項目	中項目	小項目
1 解剖学	A 総論	a 定義、目的、分類
	B 骨格系	a 骨の構造と分類
		b 骨吸収と骨形成
		c 関節の構造と分類
		d 各部の骨・靭帯・関節
	C 筋系	a 筋の構造と形態
		b 各部の筋・腱・靭帯
	D 神経系	a 中枢神経系
		b 末梢神経系
	E 脈管系	a 心臓
		b 動脈系
		c 静脈系
		d リンパ系
	F 内臓諸器管	a 消化器
		b 呼吸器
		c 泌尿・生殖器
		d 内分泌腺
	G 感覚器	
	H 体表解剖	a 動脈
		b 神経
c 筋		
d 骨		
e 関節		
I 断層解剖	a 中枢神経系	
	b 筋・骨格・末梢神経系	
	c 内臓諸器官	
J 組織	a 細胞の構造	
	b 発生	
2 生理学	A 総論	a 定義、目的、分類
	B 細胞生理(分子生物学と再生医学の基礎を含む)	
	C 筋	a 筋線維の構造と機能
		b 筋収縮
	D 神経	a 神経線維の構造
b 興奮と伝導		

大項目	中項目	小項目
		c シナプス伝達
		d 反射
		e 受容器－感覚神経伝達
		f 神経－筋接合部の伝達
		g 中枢神経
		h 末梢神経
	E 感覚	a 体性感覚(皮膚感覚、深部感覚)
		b 内臓感覚
		c 視覚
		d 聴覚、平衡感覚
		e 嗅覚・味覚
	F 発声・構音・言語	a 発声器官
		b 言語中枢
	G 運動	a 神経筋運動単位
		b 随意運動
		c 筋緊張
		d 運動における生体の生理的变化
	H 自律神経	a 交感神経系
		b 副交感神経系
	I 呼吸	a 呼吸運動(肺の内圧変化、容積変化を含む)
		b ガス交換とガスの運搬
		c 酸塩基平衡
		d 呼吸中枢
	J 循環(心臓の機能を含む)	a 循環の調節(血液とリンパの循環)
		b 心筋の特性
		c 心臓拍動の自動性と心拍出量
		d 心臓の刺激伝導系
	K 血液・免疫	a 血液の成分
		b 血液細胞の生成と分化
c 血液凝固と線溶現象		
d 免疫機能		
L 咀嚼・嚥下、消化、吸収	a 唾液分泌の機序	
	b 嚥下運動と嚥下反射中枢	
	c 胃内消化(胃液分泌、蠕動運動を含む)	
	d 腸内消化吸收	
	e 肝臓・胆嚢・膵臓の機能	

大項目	中項目	小項目
		f 消化酵素
		g 栄養素と吸収部位
	M 排尿	a 尿の性状
		b 糸球体・尿細管の機能
		c 排尿機構(排尿中枢を含む)
	N 排便	
	O 内分泌・栄養・代謝 (生化学の基礎を含む)	a ホルモンとビタミン
		b 糖、蛋白、脂肪代謝
		c 代謝率(基礎・エネルギー代謝率を含む)
	P 体温調節	a 体温調節中枢
		b 熱の産生と放出の機序
	Q 生殖	a 勃起、射精
		b 排卵、月経、妊娠、出産
	R 老化	
3 運動学	A 総論	a 定義、目的
		b 力学の基礎
		c 運動器の構造と機能(機能解剖を含む)
		d 運動の中樞神経機構
		e 運動とエネルギー代謝
		f 運動と呼吸・循環
	B 四肢と体幹の運動	a 顔面・頭部の運動
		b 上肢帯と上肢の運動
		c 下肢帯と下肢の運動
		d 体幹の運動
		e 呼吸運動
C 運動分析・動作分析		
D 姿勢		
E 歩行		
F 運動制御と運動学習		
4 人間発達学	A 総論	a 定義、目的
		b 発達理論
		c 発達段階と発達課題
		d 発達評価(DDST:Denver Developmental Screening Test 日本版、遠城寺式等)
		e 運動発達(原始姿勢反射を含む)
		f 精神発達

大項目	中項目	小項目
		g 心理社会的発達
	B 各期における発達	a 小児期
		b 青年期
		c 成人期
		d 老年期

II 疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進

大項目	中項目	小項目	
1 医学概論	A 医学の基本	a 生命倫理	
		b 基本的人権	
		c 医の倫理(患者の権利、医療者の義務)	
	B 健康と病気の概念	a 健康の定義	
		b 病気の定義と分類	
2 臨床医学総論	A 病理学概論	a 病因論(内因・外因を含む)	
		b 病理学的変化(血行障害、進行性・退行性病変、炎症・感染・免疫・アレルギー、腫瘍・新生物、奇形・遺伝を含む)	
		c 生体反応(ホメオスタシス、ストレス)	
	B 病気の診断と治療	a 問診、身体所見、記録	
		b 生化学的検査	
		c 生理学的検査	
		d 画像検査	
		e 薬物療法	
		f 外科療法	
		g 安静、栄養、看護	
	3 リハビリテーション医学	A 総論	a リハビリテーション医学の定義と歴史
			b リハビリテーション医学の特徴
		B 障害の診断と評価	a 医学的情報(病理・電気・画像診断を含む)の評価
b 機能障害の評価			
c 活動制限(能力低下)の評価			
d 参加制約(社会的不利)の評価			
e 環境因子の評価			
C 機能障害の評価とリハビリテーション		a 運動障害(運動麻痺、筋力低下、持久力低下、筋萎縮、関節拘縮、運動失調、痙縮、固縮を含む)	
		b 基本動作障害	
		c 複合動作障害	
		d 呼吸障害	
		e 循環障害	
		f 代謝・内分泌障害	
		g 発達障害	
		h 構音障害	
	i 視覚障害		

大項目	中項目	小項目
		j 聴覚障害
		k 高次脳機能障害(失語、失認、失行、記憶障害、遂行機能障害等を含む)
		l 疼痛
		m 摂食・嚥下障害
		n 排尿障害
		o 排便障害
		p 心理的問題
	D 活動制限(能力低下)の評価とリハビリテーション	a 日常生活活動の障害
		b 生活関連活動の障害
	E 参加制約(社会的不利)の評価とリハビリテーション	
	F 病態運動学	
	G リハビリテーション治療	a 理学療法
		b 作業療法
		c 言語聴覚療法
		d 義肢・装具療法
		e 運動学習
		f 基本動作練習
		g 複合動作練習
		h バイオフィードバック療法
		i 神経ブロック
		j 心理的アプローチ
		k リハビリテーション機器(杖、車椅子、座位保持装置、環境制御装置を含む)
		l リスク管理
		m 機能的帰結の予測
		n リハビリテーションプログラムの立案
	H 廃用症候群	a 疫学
		b 病理・病態・症候
	c 評価・検査(画像・生理検査を含む)	
	d リハビリテーション	
	e その他の治療	

大項目	中項目	小項目
4 臨床心理学	A 基礎理論	a 歴史
		b 防衛機制と転移
		c 学習、記憶、行動
	B 正常および異常心理	a 児童・青年期心理
		b 成人・高齢者心理
		c 障害者心理
	C 臨床心理検査法	
	D 心理療法およびカウンセリング	
5 精神障害と臨床医学	A 疫学・予後	a 器質性精神障害(症状性を含む)
	B 病因・症候	b 精神作用物質使用による精神および行動の障害
	C 評価・検査(画像・生理検査を含む)・診断	c 統合失調症、統合失調症様障害および妄想性障害
	D リハビリテーション	d 気分(感情)障害(躁うつ病・うつ病を含む)
	E その他の治療(精神療法を含む)	e 神経症性障害、ストレス関連障害および身体表現性障害
		f 生理的障害および身体的要因に関連した行動症候群(摂食障害・非器質性睡眠障害を含む)
		g 成人の人格(パーソナリティ)及び行動の障害
		h 知的障害
		i 心理的発達の障害
		j 小児期および青年期に通常発症する行動および情動の障害
		k てんかん
		AからEに共通
	6 骨関節障害と臨床医学	A 疫学・予後
B 病理・症候		A b 骨折
C 評価・検査(画像・生理検査を含む)・診断		か c 脱臼
D リハビリテーション		ら d 関節リウマチとその近縁疾患
E その他の治療		E e スポーツ外傷
		f 脊椎疾患(椎間板ヘルニア、脊椎症を含む)
		g 腰痛症
		h 切断(小児の先天性奇形を含む)
		共通 i 靭帯損傷

大項目	中項目	小項目
		<p>AからEに共通</p> <ul style="list-style-type: none"> j 肩関節疾患(肩関節周囲炎、腱板損傷を含む) k 慢性疼痛疾患 l 骨粗鬆症 m 骨壊死性疾患(大腿骨頭壊死を含む) n 先天性異常、系統疾患(骨端症を含む) o 骨軟部腫瘍 p 熱傷
<p>7 神経・筋系の障害と臨床医学</p>	<p>A 疫学・予後</p> <p>B 病理・症候</p> <p>C 評価・検査(画像・生理検査を含む)・診断</p> <p>D リハビリテーション</p> <p>E その他の治療</p>	<p>AからEに共通</p> <ul style="list-style-type: none"> a 血管障害 <ul style="list-style-type: none"> ① 脳出血 ② 脳梗塞 ③ くも膜下出血 ④ 脳静脈血栓症 ⑤ 脊髄血管障害 b 感染・炎症性疾患 <ul style="list-style-type: none"> ① 髄膜炎 ② 脳膿瘍 ③ 脳炎 ④ 急性脊髄前角炎 ⑤ 遅発型ウイルス感染症 c 変性ならびに脱髄疾患 <ul style="list-style-type: none"> ① Parkinson 病 ② Parkinson 症候群 ③ 脊髄小脳変性症 ④ 筋萎縮性側索硬化症 ⑤ 脊髄性進行性筋萎縮症 ⑥ 多発性硬化症 ⑦ 脊髄空洞症 ⑧ 認知症 d 外傷 <ul style="list-style-type: none"> ① 脳外傷 ② 脊椎・脊髄損傷 ③ 末梢神経損傷(腕神経叢損傷、絞扼性末梢神経損傷を含む) e 腫瘍 <ul style="list-style-type: none"> ① 脳腫瘍

大項目	中項目	小項目
		② 脊髄腫瘍
		f 末梢神経・筋疾患
	AからEに共通	① 三叉神経痛
	AからEに共通	② 顔面神経麻痺
	AからEに共通	③ 多発神経炎
	AからEに共通	④ 重症筋無力症
	AからEに共通	⑤ 多発筋炎
	AからEに共通	⑥ 筋ジストロフィー症
	AからEに共通	⑦ 筋緊張症
		g てんかん、頭痛
		h 感覚器系障害
		① 視覚障害
		② 聴覚障害
8 小児発達障害と臨床医学	A 疫学・予後	a 脳性麻痺、精神発達遅滞
	B 病理・症候	b 二分脊椎
	C 評価・検査(画像・生理検査を含む)・診断	c 悪性腫瘍
	D リハビリテーション	d 遺伝子病・系統疾患(骨端症を含む)
	E その他の治療	
9 内部障害と臨床医学	A 疫学・予後	a 呼吸器疾患
	B 病理・症候	b 循環器疾患
	C 評価・検査(画像・生理検査を含む)・診断	c 消化器疾患
	D リハビリテーション	d 腎・泌尿器疾患
	E その他の治療	e 生殖器疾患
		f 血液疾患・自己免疫疾患
		g 内分泌・代謝疾患
		注:それぞれの疾患には悪性疾患、感染症を含む
10 老年期障害と臨床医学	A 疫学・予後	a 老年症候群
	B 病理・症候	b 認知症
	C 評価・検査(画像・生理検査を含む)・診断	c 脳血管障害
	D リハビリテーション	d うつ
	E その他の治療	e 心不全
		f 末梢循環障害
		g 老人性肺炎・誤嚥性肺炎
		h 慢性閉塞性肺疾患

大項目	中項目	小項目									
		<table border="1"> <tr> <td data-bbox="798 309 845 705" rowspan="7">A か ら E に 共 通</td> <td data-bbox="845 309 1457 360">i 悪性腫瘍</td> </tr> <tr> <td data-bbox="845 360 1457 412">j 変形性関節症</td> </tr> <tr> <td data-bbox="845 412 1457 463">k 骨折</td> </tr> <tr> <td data-bbox="845 463 1457 515">l 骨粗鬆症</td> </tr> <tr> <td data-bbox="845 515 1457 566">m 睡眠障害</td> </tr> <tr> <td data-bbox="845 566 1457 618">n 摂食・嚥下障害</td> </tr> <tr> <td data-bbox="845 618 1457 669">o 感覚器障害</td> </tr> <tr> <td data-bbox="798 669 1457 705">p 終末期のケア</td> </tr> </table>	A か ら E に 共 通	i 悪性腫瘍	j 変形性関節症	k 骨折	l 骨粗鬆症	m 睡眠障害	n 摂食・嚥下障害	o 感覚器障害	p 終末期のケア
A か ら E に 共 通	i 悪性腫瘍										
	j 変形性関節症										
	k 骨折										
	l 骨粗鬆症										
	m 睡眠障害										
	n 摂食・嚥下障害										
	o 感覚器障害										
p 終末期のケア											

Ⅲ 保健医療福祉とリハビリテーションの理念

大項目	中項目	小項目
1 保健医療福祉	A 医療	a インフォームドコンセント
		b 安全管理(インシデント・感染症対策 等)
		c 個人情報保護
		d チーム医療、連携医療
		e EBM(根拠に基づいた医療)
		f 医療の供給体制(一次・二次・三次医療、救急・災害・へき地医療、地域医療)
	B 保健	a 健康管理
		b 健康増進
		c 一次・二次・三次予防
		d 環境保健
		e 地域保健
		f 母子保健
		g 学校保健
		h 産業保健
		i 高齢者保健
		j 精神保健
		k 感染症対策
	C 医療・福祉制度	a 医療保険制度
		b 公的扶助制度
		c 介護保険制度
	D 関連法規	a 医事法規 <ul style="list-style-type: none"> ① 医療法 ② 理学療法士及び作業療法士法
		b 保健衛生法規 <ul style="list-style-type: none"> ① 地域保健法 ② 精神保健及び精神障害者福祉に関する法律 ③ 高齢者の医療の確保に関する法律
		c 福祉関係法規 <ul style="list-style-type: none"> ① 障害者自立支援法 ② 児童福祉法 ③ 身体障害者福祉法 ④ 知的障害者福祉法 ⑤ 老人福祉法

大項目	中項目	小項目
2 リハビリテーション 概論	A 理念	a リハビリテーションの定義・歴史
		b ノーマライゼーション
		c 自立生活(Independent Living)
		d QOL(Quality of life)
		e 総合リハビリテーション
	B 疾病・障害の概念と 分類	a ICD(International Statistical Classification of Disease and Related Health Problems)
		b ICIDH(International Classification of Impairments,Disabilities and Handicaps)
		c ICF(International Classification of Functioning, Disability and Health)
	C 患者・障害者の心 理・社会的側面	a 患者の心理・信念
		b 障害受容
		c 心理教育(患者教育、家族教室)
		d 社会参加、社会復帰
	D リハビリテーションの 進め方	a リハビリテーション関連職種とその役割
		b チームアプローチ
		c 評価会議とゴール設定
		d リハビリテーションプログラム、クリニカルパス
	E リハビリテーションの 諸相	a 医学的リハビリテーション
		b 教育的リハビリテーション
		c 職業的リハビリテーション
		d 社会的リハビリテーション
e 地域リハビリテーション		